

[各教育関係副学長から]

三重大学の教育をより良くする仕組みとしての教学マネジメント —三重大学の教学マネジメントとリカレント教育のこれまでとこれから—

小林 一成（三重大学副学長(教育(教学マネジメント, リカレント教育)担当)）

令和2年の「教学マネジメント指針」に沿った施策の実施は、大学が外部評価を受ける際の重要事項となっているだけでなく、共通指標による大学評価の対象ともなっており、大学にとって重点的に取り組まざるを得ない状況になっています。これまで三重大学の教学マネジメントは、先人たちのご尽力により、文科省や中教審からのアドバイスをいち早く取り入れ、時にはそれを先取りしつつ、可視化システムの整備などを精力的に進めてきました。この結果、共通指標の教学マネジメントに関する項目では同じグループに属す地方国立大学の中で1位を獲得するなど、これまでの取り組みによって本学の教学マネジメントの基盤は揺るぎないものになりました。

この基盤を活かすことにより、教学マネジメントの本質である「三重大学の教育をより良く」することに、いよいよ大学をあげて注力することが可能になったと言えるでしょう。例えば、アンケートの調査結果を分析する仕組みはしっかりと整備されており、今後はこの結果を教育改善につなげることができます。さらに、改善された点を学生と教職員の皆様にフィードバックし、さらなる改善につなげていく循環を作ることも可能になりました。今後は、「三重大学の教育をより良く」する取り組みを持続するため、教学マネジメントの仕組みづくりをさらに進めたいと考えています。

一方、若い学生たちの教育に加えて、大学には、社会人の学びを支えるインフラとしての役割にもこれまで以上に期待が寄せられつつあります。地域の企業では既に顕在化しているように、若い人材や新しいスキルを持つ高度人材を得ることが難しくなり、将来的には企業の存続を脅かすことになりかねない状況です。この難問を解決するための有力な方法として、大学が提供するリカレント教育・リスキリングが注目されているのです。本学は、その重要性にいち早く気づき、地域・社会に大学の学びを提供する仕組みとして、三重大学リカレント教育センターを令和4年4月に整備しました。リスキリングについては、多くの民間企業が何万ものオンデマンド教材を用意しており、それに加えて、プログラミングをはじめとするスキル習得のための無料コンテンツがSNS上で豊富に提供されています。それでは、なぜ大学が提供するリカレント教育・リスキリングに期待が寄せられているのでしょうか。それは、大学は単なるスキルの修得だけでなく、教員との熟議を通じた課題発見・解決力を含む「行動する力」を養う教育を得意としているからです。大学における学びでしか身につけることができない基盤的な力が専門的なスキルと結びつくことによって、初めて実社会で役立つ力が得られることに期待が寄せられているのです。

「三重大学の教育をより良く」するための教学マネジメントと社会人を教育するリカレント教育には、直接的な関係は無いように見えますが、実はこれらは密接に関係しています。なぜなら、教学マネジメントによって教育力が高まることは、社会人に提供する教育リソースの質を高めることに直接つながるからです。例えば、本学が新たにディプロマ・ポリシーに掲げようとしている「行動する力」は、若い学生たちに限らず、毎日が課題発見・解決の連続である社会人にとって、最も重要な基盤的能力であることは言うまでもありません。

「三重大学の教育をより良く」する取り組みの主役は本学の教職員と学生の皆様です。皆様の取り組みを一層サポートできるよう、より良い教学マネジメントの仕組み作りに努めたいと思います。